

1 整備の概要

(1)背景

区では、板橋区加賀に所在する国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」を保存・活用しながら、当史跡が有する歴史的な価値を守りつつ、地域の中で愛される板橋区史跡公園(仮称)(以下「史跡公園」という。)の整備事業を進めている。

この史跡公園の整備エリアを含む加賀一帯は、明治初期から終戦まで、官営の板橋火薬製造所が設置されていたことに伴い、近代的な火薬製造所・研究所に関連した施設の役割を担いながら、現在の「ものづくり板橋」を形成する原動力の1つとなり、区産業の発展に大きく寄与した地である。

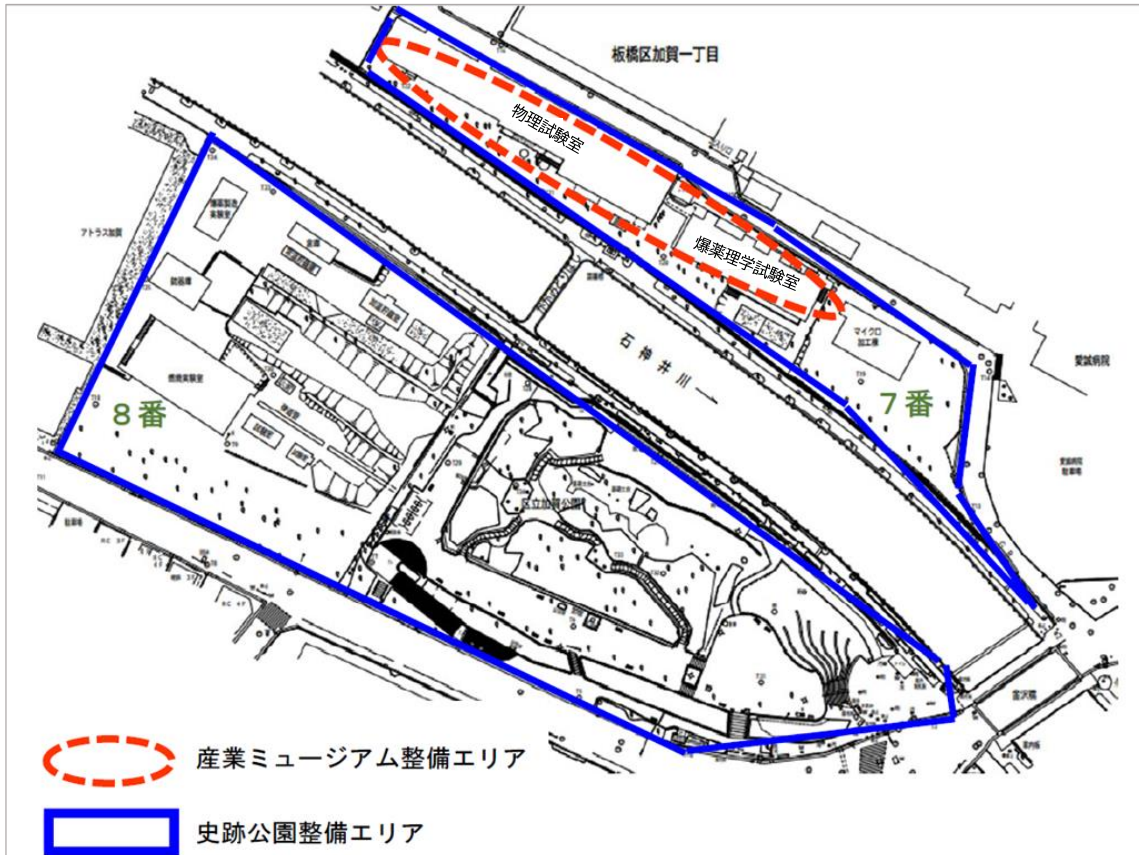
また、同エリア内に残存している旧理化学研究所板橋分所(以下「旧板橋分所」という。)の建造物に着目してみると、戦後、ノーベル物理学賞受賞者を含む多くの研究者が日本の科学技術の進歩に向けて宇宙線研究をはじめとする基礎研究に取り組んだ歴史が積み重なっており、産業の発展との繋がりが深く、極めて貴重な場所となっている。

(2)整備目的

史跡公園の整備と歩調を合わせながら、旧板橋分所の建造物を(仮称)産業ミュージアム(以下「産業ミュージアム」という。)として整備することで、同建造物が持つ文化的価値と歴史的ストーリーを背景とした区産業の歴史と先進性を区内外に発信し、板橋の産業ブランドの向上を図っていく。

(3)対象建造物

旧板橋分所の建造物(爆薬理学試験室、物理試験室)【所在地:加賀一丁目7番地】



2 産業ミュージアム基本構想・基本計画の策定

(1)計画の策定目的

旧板橋分所の建造物が持つ文化財的価値や歴史的ストーリーを念頭に置きながら、板橋の産業ブランドを向上させるための産業ミュージアムのコンセプト、具体的な機能等を検討していく。また、整備に向けた検討を踏まえ、産業ミュージアム基本構想・基本計画を策定することにより計画的に整備を進めていく。

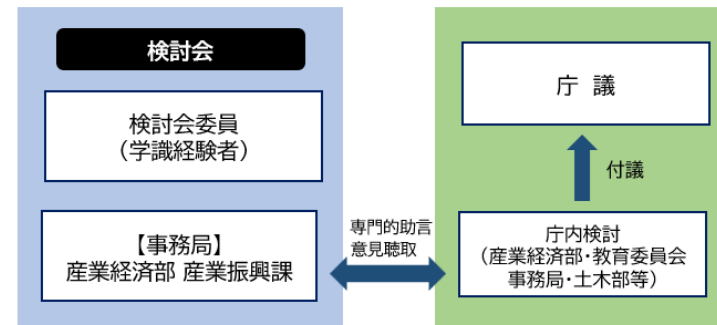
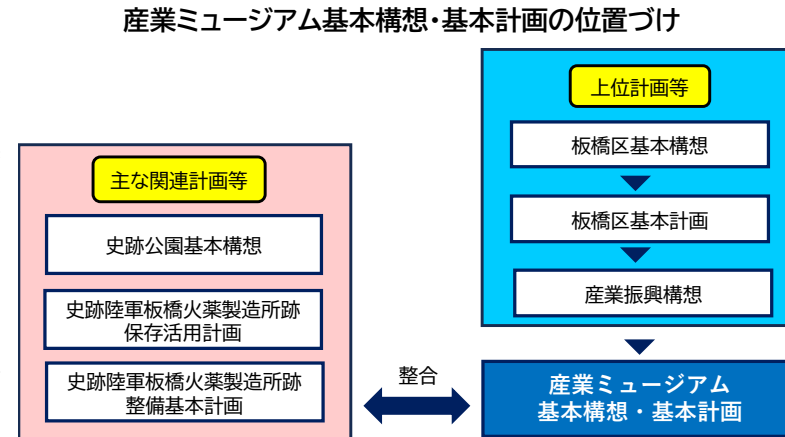
(2)基本構想・基本計画の位置づけ

板橋区基本計画や産業振興構想などの上位計画に加え、史跡公園の整備に係る関連計画等との整合性を図りながら、基本構想・基本計画を策定していく。

(3)策定の進め方

学識経験者で構成する産業ミュージアム基本構想・基本計画検討会(以下「検討会」という。)において専門的な知見等に基づく意見徴取を行いながら、産業ミュージアムのコンセプト、具体的な機能等を整理し、基本構想・基本計画を策定していく。

また、産業ミュージアムの具体的な機能を検討していくにあたっては、史跡公園の整備と歩調を合わせるため、史跡陸軍板橋火薬製造所跡整備専門委員会に対し、建造物内部の活用方法について協議を行う。なお、策定にあたっては、区民・関係団体等からも意見徴取を行うこととする。



3 スケジュール(予定)

(1)令和7年度

- | | |
|------|----------------------------------|
| 6月上旬 | 区民環境委員会報告 |
| 9月上旬 | 庁議報告 |
| 9月下旬 | 区民環境委員会報告「基本構想・基本計画(中間のまとめ)について」 |
| 1月下旬 | 庁議報告 |
| 2月中旬 | 区民環境委員会報告「基本構想・基本計画(原案)について」 |
| 3月下旬 | 基本構想・基本計画の策定・公表 |

(2)令和8年度以降

- | | |
|-------------|-----------------|
| 令和8年度 | 建造物内部の整備デザインの検討 |
| 令和9年度から10年度 | 基本設計・実施設計 |
| 令和11年度 | 整備工事、グランドオープン |